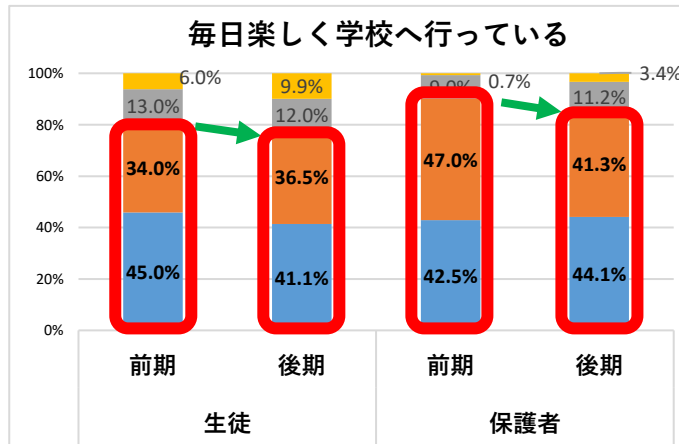
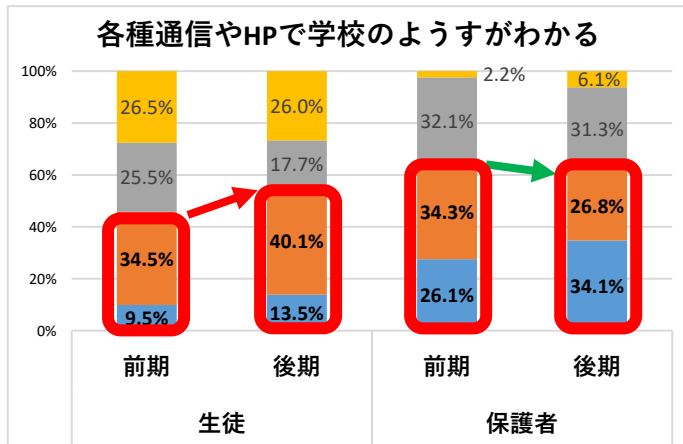
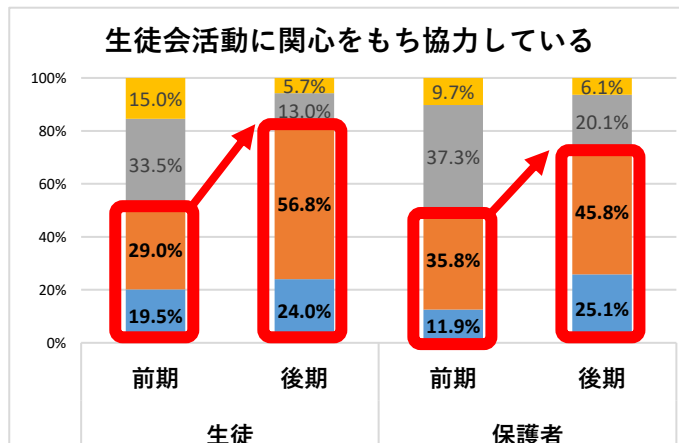
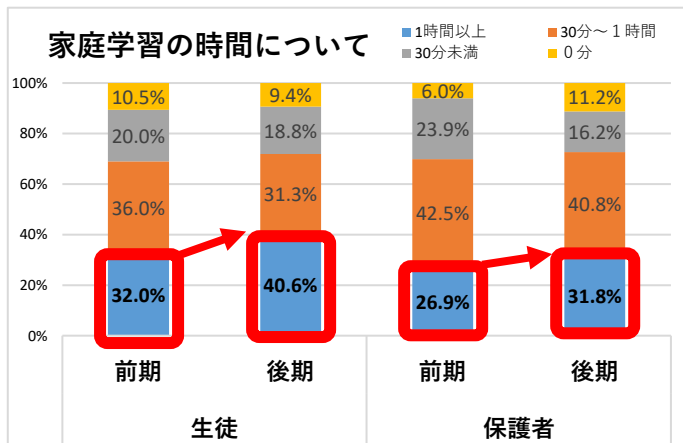


令和2年度 北九州市立南小倉中学校 学校評価

1. アンケート結果

はい A B C D いいえ



【考察】

- 1時間以上の家庭学習を行っているという項目について、保護者、生徒ともに増加した。
- 生徒会活動が活発になり生徒主体の取組ができるようになってきている。
- 各種通信を読んでいる生徒やホームページの閲覧数が増加したが、さらに情報発信する必要がある。
- コロナ禍においても、行事の行い方等の工夫や部活動を見直し、学校の魅力づくりを継続する。

2. 学校評議員会(実施日 第1回 令和2年8月26日(水) 第2回 令和3年2月25日(木))

<協議において、学校評議員の方々からいただいたご意見> (記述内容は一部抜粋しているものがあります。ご了承ください。)

- 学校側のご苦勞もよく分かりました。生徒がこの状況下においても明るく学んでいる様子は心温まるものでした。
- コロナの中でどのような取組を学校が行っているかがとてもよく分かり、安心しました。
中学生はとても気持ちよくあいさつしてくれます。
- コロナ対策を最大限に努力されていることが十分に伺い知ることができました。引き続き対応をお願いしたい。

<評議員からの意見や評価を踏まえた成果と課題>

- 学校評議員からは、校長の学校経営について肯定的な評価をいただいた。
- 感染症防止対策、生徒の挨拶と生徒会活動推進の取組を継続する。
- ICTを活用した授業を行うなど新学習指導要領に対応した個に応じた指導や支援の充実を図る取組を進める。
- ホームページや通信で学校の取組を積極的に発信する。

